指針第２号様式

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	株式会社パロマ
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	名古屋市瑞穂区桃園町6-24
工場等の名称	株式会社　パロマ　本社第二工場
工場等の所在地	名古屋市瑞穂区桃園町7-6
業種	製造業
業務部門における建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	ガス器具の製造
計画期間	令和4年4月1日　～　令和7年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年6月21日　～　令和5年9月19日		
公表方法	○	掲示閲覧	（場所）　本社第二工場　保全
		ホームページ	(EPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	本社第二工場　保全　052-692-4681		

指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

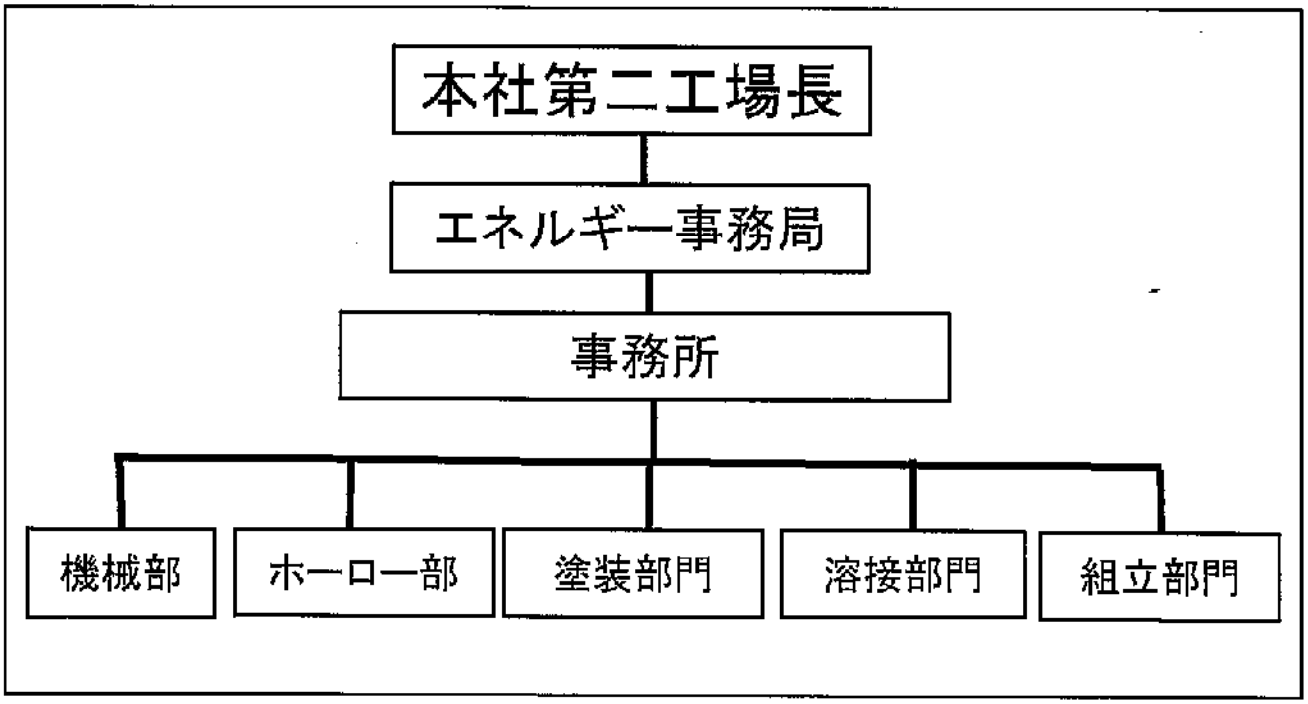
（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

・リサイクル活動の展開
　ガス事業者様や大手量販店様との共同で、リサイクル活動を展開しています。
　買い替えにより古くなったガス器具の回収を行い、分解・素材ごとに分別し、リサイクル事業者にて再資源処理を行っております。

・新規導入
　省エネルギー設備の導入、新エネルギーの利用拡大など通じ、地球温暖化防止に向けて継続的に取り組んでいます。

・ライトダウンキャンペーンに参加
　屋上ネオンを消灯するほか、事務所、工場内をこまめに消灯するなどの活動を通じて協力しています。

（２）地球温暖化対策の推進体制



指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　１　年度目（令和　４　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,596	t-CO_2
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）（①を除く。）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		4,596	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量

項目	基準年度の実績	目標	計画期間の実績		
	令和　3　年度	令和　6　年度	令和　4　年度	令和　5　年度	令和　6　年度
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
削減率（対 基準年度）		%	%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量			t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
削減率（対 基準年度）			%	%	%

項目	基準年度の実績	目標	計画期間の実績		
	令和　3　年度	令和　6　年度	令和　4　年度	令和　5　年度	令和　6　年度
原単位あたりの排出量	0.02698 kg-CO_2／個	0.02617 kg-CO_2／個	0.02706 kg-CO_2／個	kg-CO_2／個	kg-CO_2／個
削減率（対 基準年度）		3.0 %	▲ 0.3 %	%	%
原単位あたりのみなし排出量			kg-CO_2／個	kg-CO_2／個	kg-CO_2／個
削減率（対 基準年度）			%	%	%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

新型コロナの発生件数が増え、各職場の換気を優先したので、エアコンの運転時間が増加し、電気使用量が増えて、前年度より原単位が増えている。

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
ガス使用量削減	・蒸気漏れを無くす。 ・焼成炉の熱漏れ改善。 ・配管、バルブを保温の徹底。 ・スチームトラップ点検。		・ホーロー前処理槽用蒸気配管の蒸気漏れ修理。 ・スチームトラップ毎月点検。 ・配管、バルブの保温状態点検
電気使用量の削減	・照明をＬＥＤ化 ・古い機器を省エネタイプに交換する。 ・照明は、こまめに消灯する。 ・機械の運転工程を見直し、ムダな消費をやめる ・デマンドコントローラーによる負荷の平準化		・引き続き照明をLEDに変更。 ・省エネタイプのエアコン導入
電気使用量の削減	・空調機器の管理　　設定温度　○冷房　26℃以上 ○暖房　20℃以下 ・空調機フィルターの定期清掃		・空調の温度管理実施 ・フィルター掃除（春、秋実施） 令和4年度省エネ機器導入：パッケージエアコン（ﾓｰﾀｰ出力7.2kW+5.6kW）
廃棄物の削減	・分別、リサイクル化し廃棄物を減らす。		・廃棄物の分別の徹底。
電気使用量の削減	エアー漏れを無くす。		・エアー漏れ随時修理。
電気使用量の削減	・ポンプの流量調整をインバーター化		未実施
見える化	・各職場電気メーター取り付け		未実施

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　１　年度目（令和　４　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　１　年度目（令和　４　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

手洗いは、節水し、休憩中は、節電の為消灯に努めている。

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

毎月8日は、定時退社に努めている。